

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

# 11月園だより

令和2年10月29日  
October 29, 2020

園長 河合 晴美  
Principal  
Harumi Kawai

## 教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子



## 子どもたちの成長

園長 河合 晴美

園庭の木々が少しずつ色付いている中で、子どもたちが元気いっぱいに遊んでいます。

先日の「親子で遊ぼうデー」では、学年別に体を動かして遊ぶ機会をつくりました。保護者の皆さまには、各学年、子どもたちが楽しんでいること、力を出していく姿をご覧いただきました。

3歳児りんご組は、担任と楽しみながら繰り返すことで、動き方を知り、一緒に活動する楽しさを味わいました。

4歳児ばら組は、友達と声や動きが合わさる心地よさを楽しみながら、新しい動きに挑戦しました。そして、出来たことが嬉しさとなり満足感を味わいました。

5歳児さくら組は、学級の仲間、チームの仲間とつくりあげていく過程の中で、様々な感情を抱きながらも気持ちを切り替え、目的に向かって力を出していき、満足感や達成感を味わいました。

それぞれの学年が経験したことが実を結び、今では、異年齢の関わりが深まり楽しむ姿や自信をもって行動する姿が見られています。御協力ありがとうございました。

さて、本園は、10月22日に86回目となる開園記念日を迎えました。地域の皆さまの願いのもと昭和9年に開園し、東京都の中で33番目、港区立幼稚園の中では2番目となる歴史ある幼稚園です。園に残る園日誌には、当時、はじめて経験する砂場や滑り台を大喜びで遊ぶ様子や弁当を入れたバスケット(当時の園バッグ)を嬉しそうに持ち登園する様子など、毎日の出来事が日記のように記されています。そして、読み進めていく中で、幼児の姿を的確にとらえ保育を進めていく当時の先生方の温かいまなざしが伝わりました。

南山幼稚園は、これからも一人一人に寄り添う保育をすすめ、子どもたちの未来につながる姿のために、最善を尽くしていきたいと思っております。



<さくら組とばら組が一緒に楽しむりレー>



<ばら組がりんご組に教える忍者のリズム>

